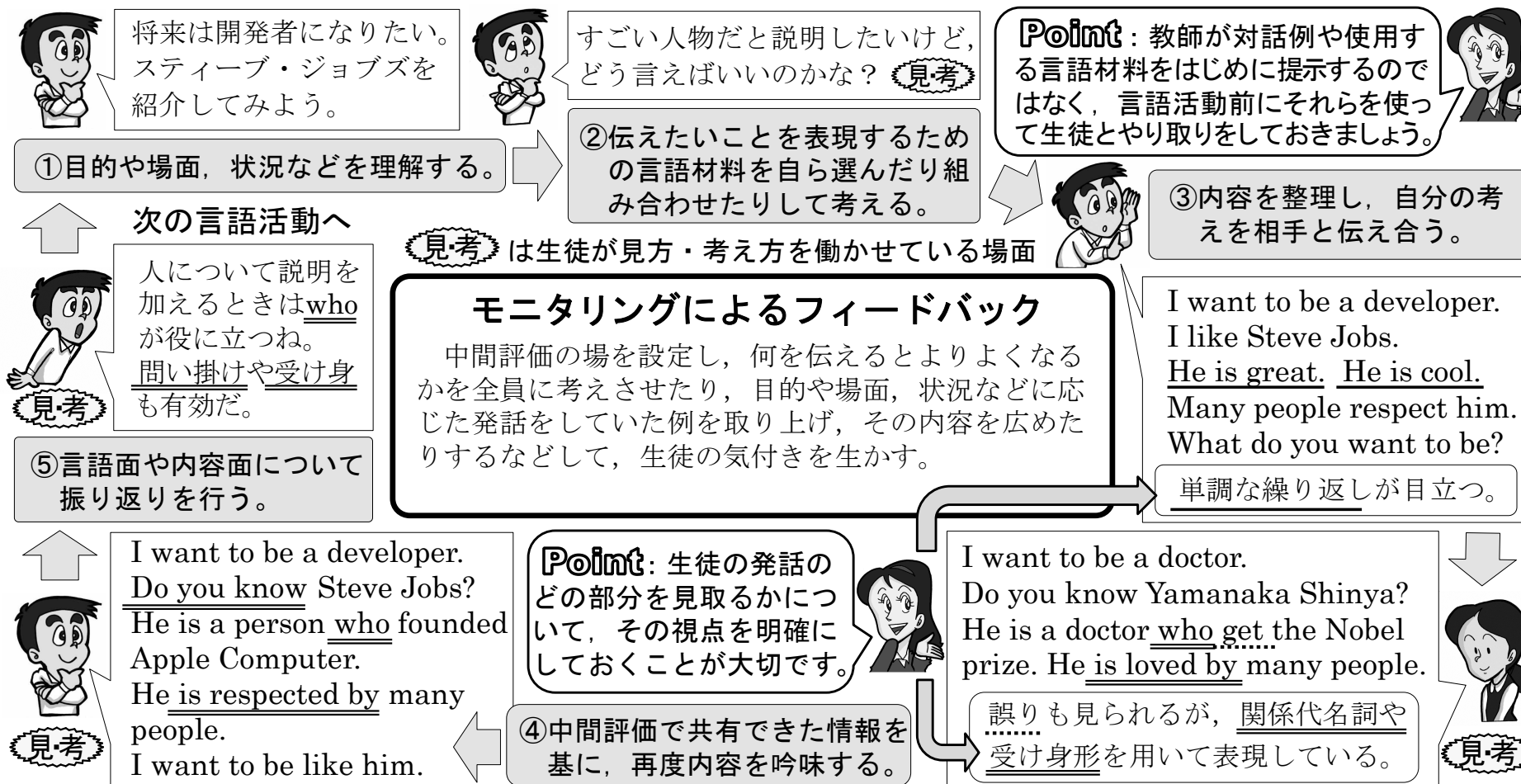


外国語活動、外国語(英語)

児童生徒の気づきを生かした言語活動の充実

言語活動においては、話型や言語材料を教師が事前に与え過ぎず、目的や場面、状況などに応じて、「何を話すとよいか」と「それを英語でどのように表現するか」を児童生徒に思考・判断させることが肝要です。このことが、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせることにつながります。

言語活動の流れの指導例 憧れの人物を挙げ、将来の夢について伝え合おう！（中学校第3学年）



与えられた話型による対話に終始させるのではなく、必要に応じた支援を行いながら、目的や場面、状況などに応じた言語活動に計画的に取り組ませることで、身に付けさせたい資質・能力の育成を目指しましょう。